



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

…会員随時募集中！…

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX：0467-47-1164 木曜を除く 10時～16時  
 Web URL：<http://www1.ocn.ne.jp/~ya-yato/> E メールアドレス：[ya-yato@arrow.ocn.ne.jp](mailto:ya-yato@arrow.ocn.ne.jp)



# 農芸作業、わきあいあいと

**山崎の夏まつりに参加**  
**7月20日(日)開催**  
 地元の伝統的なお祭りです。当会からは毎年、御輿の屋根の上の鳳(おおどり)にくわえさせる稲の提供と、御輿の担ぎ手として参加しています。

梅取り・梅の下漬け作業(6/6)



**もくじ** ☆各班からのお知らせ→2・3p ☆谷戸の自然だより→4p ☆谷戸往来→p5 ☆谷戸の体験学習p6・7 ☆7～9月の日程表(裏表紙)

里山に欠かせない風物として、梅、栗、柿などがあります。山崎の谷戸にも残る大切な木々の恵を、昔ながらの加工法で生かしているのが農芸班です。収穫後の後始末に手のかかる豆や麦の選別などは、班活動にとどまらずコツコツと続けるのが鍵。見かけたら、どなたでも手を染めてみてください。まずは農繁期真っ最中で、どの班も草との格闘です。こちらもぜひご協力を。

# 各班からののお知らせ



## 田んぼ班

★7/5(土)、6(日)、12(土)、13(日)、19(土)、20(日)、26(土)、27(日)田の草取り



6/15 田植え

6月初旬に田植えを無事終わりました。例年通り“さとじまん”と“マンゲツモチ”です。今年は苗の生育がよく、大きめの苗を植えられました。天候が気になりますが生育が楽しみです。

7月、8月の作業は田の草取りです。田の雑草コナギ、オモダカに負けないように頑張りましょう。

田植えには、小学校5年生(延べ7人)の参加もありました。学校で田植えのできない小学生に重宝される一方、体験学習で谷戸の米作りを行っている5年生も参加しました。

田んぼ作業のすそ野が広がるとよいですね。



## 畑班

★7/6(日)ごまの種蒔き ★13(日)さといもの手入れ★20(日)小豆の種蒔き  
★27(日)落花生の草取り・草刈り

初夏の畑は、次から次へとやる事がたくさんあって、忙しい時期なのですが、天候に恵まれ、多くの方に参加していただき、予定していた作業を無事にこなすことができました。

盛夏は、畑の作物の成長より雑草の勢いの方が強いので、草取りをしながら、ごまや小豆の種蒔きもします。

夏草の匂い、蝉時雨、田んぼをわたってくる風、冷えた麦茶、谷戸ですぐず時間は懐かしさでいっぱいです。



6/8 小麦の刈り取り



## 雑木林管理班

★7/13(日)土手保全のための草刈り ★20(日)草刈りして堆肥を作る



5/25 土手保全のための草刈り

今年も、例年通りに雑木林の手入れから離れ、春の谷戸まつり用のタケノコ掘りを兼ねた竹林整備、ため池のかい掘り、本田周辺の土手の草刈りを行いました。

これから夏の間は、田んぼ、畑周りの土手周りの草刈り、雑木林の下草刈りなどを行う予定です。



## 農芸班

★7/25(日)梅干し作り(赤ジソ仕込み)  
★8/8(金)梅干し作り(天日干し)

6/6(金)に1回目の梅仕事を終わりました。高所の梅の実をめがけ竹竿で枝を叩くと、ポトポトとあちらこちらに落ち、拾い集めました。自然からの恵みをいただく瞬間は豊かな気持ちになります。梅雨入り間もない小雨の中の作業となりましたが、びしょ濡れになりながらも不思議と顔がほころびました。

参加者のみなさんと協力し合って下漬(塩漬)作業を終えることができました。

次回は谷戸自生のシソを収穫して本漬(塩漬)をします。



6/6 梅干し作り



## 自然遊び班



5/11 竹馬・竹笛で昔あそび

2回「谷戸散策」では谷戸尾根道を、昔この辺りが遊び場だったおじさんにガイドしてもらいました。子ども時代の遊びを聞いたり、虫や草のことを教えてもらいながら、小雨の降る中でしたが子どもたちは元気一杯で歩いていました。

5/11（日）こども里山一日体験「竹馬・竹笛で昔あそび」～昔あそびの名人のおじさんと竹笛を作って鳴らして～少々コツの要る竹笛が、谷戸に鳴り響いた時には大人も子どもも大喜び。乗りこなすのが難しい竹馬に粘り強く挑戦していた子どももいました。

全6回の里山探検隊、1回・2回が終了しました。

1回「さつまいもの苗植え」では谷戸で育てたさつまいもの苗を畑に植え、谷戸のことや田んぼや畑のことを子どもたちに話しながら谷戸歩きをしました。5・6回目の企画「紙漉き」に使うヒメコウゾノの木のマーキングもしました。

### こども里山一日体験

#### ★ 9/7(日)「草木染め」

(2歳～小学生までの親子対象、定員10組)

他の草木に巻きつくクズを除去し、その葉を煮出して染めものをします。どんな色に染まるのか、お楽しみに！



5/25 さつまいもの苗植え



## 生態系保全班

### ★7/5(土)、12(土)夜の自然観察

### ★16(水)チョウ調査 ★27(日)夏の昆虫観察

クロスジギンヤンマやオオシオラトンボなど、夏のトンボが飛来していました。トンボが産卵する



オオシオカラトンボ

ためには水を認識できる環境が必要です。そのために、今年も小川の手入れをしていきたいと思います。手入れの前には、必ず調査と生きもの観察を行います。小さな川の多様性に驚かされます。



クロスジギンヤンマの産卵



## 植物育成班

### ★7/2(水)野草生育地の手入れ

### ★9(水)田の植物観察

先月に引き続き、カナムグラやクズを除去します。除去した後を見ると、下にある草は黄色く弱々しくなっています。その光景を見ると、やってよかったという充実感がこみ上げてきます。下にあった草花が生き生きしてくると、うれしさも増します。

また、会員が育てた野草畑に移植したハンショウヅルも根付いたようです。雑草に負けないように、野草畑の手入れも定期的に行っていきます。



ハンショウヅル



6/11 野草畑の手入れ

# 谷戸の自然だより

## ～生態系から見た、雑木林の手入れの基本 その5～

### ⑬コントロールが必要なツル植物

山崎の谷戸のように里山が公園化すると、散策路沿いの植物を楽しみに歩く人が増えます。草刈りの仕方を工夫するとさまざまな植物が楽しめるでしょう。草が茂ってきたら機械で全部刈るのが一般的ですが、将来暴れそうな植物（ササ、アオキ、ツルなど）を事前に刈ることで、さまざまな植物を残すことができます。草が茂りすぎると言っても、原因は数種類の植物のみと言っても過言ではありません。中でも、ツル植物は成長が早く、他の植物をおおってしまうので要注意です。注意すべきツル植物を挙げてみます。

**クズ**：工事や崖崩れの後に生えてくるので、自然界の「かさぶた」のような役をしていると言われています。草刈りしないで長い年月経つと生えてくる場合もあります。原因が後者の場合は見つけ次第刈った方がよいと思います。

**フジ**：木に巻き付いて枯らすこともあります。むしろ、畔跡地などに、際限なく発芽して増えてくるのが問題です。新しく生えてきたフジは刈るべきでしょう。

**カナムグラ**：近年、湿地や斜面に急激に増えています。実が野鳥の餌になるなどよい点もありますが、際限なく増えるので要注意です。

**トキワツクサ**：半ツル性の外来植物で、地面を一面に覆ってしまうため、緑地によっては増え過ぎて問題になっています。残さい置き場など腐葉土が溜まり過ぎると生えてくるようです。山崎の谷戸では疎林広場の斜面の残さい置き場に増えています。

### ⑭その他、用心したいツル

**ヤブガラシとトコロ**：かなり伸びるツル草ですが、クズやカナムグラほどには影響を与えません。昆虫には役立つ植物なので、適度に刈るとよいでしょう。

**テイカカズラとキヅタ**：雑木林の木に必ず巻き付いています。テイカカズラの花は美しくよい香りがします。キヅタの実が野鳥の食糧として役立っています。しかし、ツルが木のように固くなり年々太くなりますので、木を枯らす場合もあります。また下草刈りの後、一斉に発芽して地面を覆ってしまうことがあります。

**ノブドウとエビヅル**：散策路沿いの木によく絡んでいます。ノブドウの実が美しく、エビヅルの実は食べられます。ツルが木のように固くなり年々太くなりますので、木を枯らす場合もあります。

**アケビの仲間**：三種類ほどありますが、同じような性質です。実は食べられますが、ツルが木のように固くなり年々太くなりますので、木を枯らす場合もあります。

**危険なツタウルシ**：杉林に絡んでいるツルで、三枚の葉がきれいに紅葉します。杉林の奥に生えているので、触れる機会は少ないですが、ウルシの仲間なのでさわるとかぶれます。



カナムグラの除去作業



カナムグラの根  
直径1.5センチ

## ☆夏休み特別イベント☆ 子どもお泊り里山体験（対象4～6年生）

7月27日（日）13時半～28日（月）9時半

農作業、かまどで炊飯など、昔ながらの暮らしの体験です。

詳細は「広報かまくら」7月1日号に掲載します。（公財）鎌倉市公園協会にて申込受付を行います。



# 谷戸雑草 谷戸雑草 谷戸雑草

## 自主保育による湿地復元 5/18(日)6/14(土)

山崎の谷戸を子どもたちの主なフィールドにしている2団体が、家族総出で力仕事に活躍しました。『にこにこ会』(1~4歳)は5/18にしいし前を、『やんちゃお』(4~6歳)は6/14に農家風休憩舎裏を湿地復元しました。(『なかよし会』(1~4歳)は6月末に本田奥の予定です。)【感想】★湿地保全是父はじめみんな一生懸命大活躍でした。ブロックや石、靴、空き缶(悲しい)など、取り除けてよかったです。(星野)★軍手をするのも汗をかくのも木陰でほっと一息つくのも子育て生活はもちろん、OL時代から考えても未知の世界で新鮮でした。(石川)★小2の娘は顔まで泥んこになりながらも終始楽しそう。水が戻ってきた湿地に爽やかな気持ちになりました。(奥田)★草ぼうぼうだったのがきれいになったのを見ると気持ちがいいですね。(長田)

## 総会、無事終わる

6/1(日)の総会では、これまで撮りためたビデオのお披露目をしました。日頃、話さない会員同士の交流の場としても盛り上がりました。



にこにこ会の湿地復元

## ホタルの紙芝居を開始して、今年で18年!!

ホタルの紙芝居は18年前に青空自主保育なかよし会のお母さんたちが作り、上演ボランティアが始まりました。生態系、観察するときのマナーなど、毎年1000人以上に読み聞かせています。おかげでマナーは定着しつつありますが、遠方からの来園者も増え、車での来場、スマホでの撮影、懐中電灯の使用もなくなりません。身近な自然の大切さを伝える活動として、とても大きな働きをしていることが参加者、紙芝居上演ボランティアの感想からわかります。【感想】(なかよし会より)お誘いの声かけをすると「毎年見えていますから」と言われた家族連れがいました。継続は力なり、を実感しました。(伊東)★マナーは注意しにくい状況もありますが、谷戸のホタルを大切にしている思いは伝わると思います。薄暗いうちから静かな谷戸を見渡し、1つ目の光を見つけれられる時間は格別です。(浜野)(参加者より)生態を知った上で懸命に光る様子を見るのは感慨深く、子ども達にもいかにすごいことかがよくわかったと思います。



## ~鎌倉市教育支援教室「ひだまり」~「昔ながらの畑」

5/22 さつまいもの苗植え 他

★虫達がいたけど、さつまいものなえ植えを体験してあんまりできなかったけど、中條さんが教えてくれて、少しは出来ました。またいろんな体験をして虫に負けないように、がんばりたいと思います!(E. Y)★きぬさやをむく作業はむずかしくて最初はうまく出来ませんでした。谷戸の方々がアドバイスして下さってうまくできるようになりました。がんばって農作業した後のきぬさやはとてもおいしかったです。(M. N)